

# めぶきニューヨークレポート

## MEBUKI NEW YORK REPORT

2021年4月号

- ◇ 【調査レポート】米国における新型コロナワクチン接種状況 . . . . . P. 1
- ◇ 【NY ライフ】アメリカの大型モール . . . . . P. 3
- ◇ 【米国マーケットレポート（3月）】 . . . . . P. 4
- ◇ 【ニュース一覧】 . . . . . P. 5

常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所  
712 Fifth Avenue 8<sup>th</sup> FL  
TEL : +1-347-686-8420  
E-mail : newyork@joyobank. co. jp

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

発行元：常陽銀行市場国際部



## － 米国における新型コロナワクチン接種状況 －

新型コロナの感染者が世界最多である米国では、昨年 12 月 14 日にワクチン接種が開始されて以降、バイデン新政権および各州主導のもと接種が進んでいます。

### 1. 米国のワクチン接種状況

ワクチン先進国とも呼ばれる米国では現在（4 月 3 日現在）、必要とされる回数の接種が全て完了した人は 5,400 万人を超えており、その数は世界で群を抜いています。ただし、米国は約 3 億 3 千万の人口を有しているため、全人口に占める接種完了者の割合では 16.63%となっています。

### 2. NY 州のワクチン接種状況

#### (1) NY 州の接種計画

NY 州では昨年 12 月の接種開始以降、医療従事者、必要不可欠な業務に従事する人および基礎疾患を有する人等への優先接種を進め、その後、年齢による接種資格付与の拡大を図ってきましたが、4 月 6 日からは 16 歳以上の全州民が接種対象となっています。

#### (2) NY 州におけるワクチン接種の進捗

NY 州ではこれまで 1,000 万回以上の接種を行っており、4 月 3 日時点における進捗状況は以下の通りとなっています。

1 回以上接種した人数	接種が完了した人数
6,481,242 人（州人口の 32.5%）	3,968,546 人（州人口の 19.9%）

#### (3) 早期接種に向けた取組

NY 州では早期接種を進めるため、これまで大型のコンベンションセンターや州立大学に加え、教会、コミュニティセンター、公営住宅団地、文化センター等の生活に密着した施設にも順次接種会場を設置してきました。

マンハッタンのミッドタウンに位置するジャビッツ・センター（大型のコンベンションセンター）では、当初はファイザー製のワクチンのみが接種されていましたが、3 月 5 日以降は、それに加えてジョンソン・エンド・ジョンソン製ワクチンの接種も行われています。また、ほとんどの薬局でも接種が可能です。NY 市マンハッタン地区の薬局では、モデルナ製のワクチンを接種できる場所が目立ちます。接種希望者は接種する施設（場所）とワクチンの種類を予め選択し、希望する日時を予約することとなります。

### 3. 今後の動向

バイデン大統領は、就任後の 100 日間で 1 億回（一日 100 万回）の接種を行う目標を掲げ、その目標はすでに 58 日目（3 月中旬）で達成されました。なお、その目標は 100 日間で 2 億回にまで引き上げられています。専門家によると、このペースで順調に接種が進めば、夏までに集団免疫が獲得できるとの見解を示しています。

こうした状況を背景として、NY州では、3月に飲食を伴うイベントや屋内フィットネスジム等が、4月には大リーグの有観客試合や各種エンターテイメント会場も再開されています。さらに4月1日以降は米国内旅行者に対するNY州での自己隔離義務が撤廃され、また、CDC（米疾病対策センター）では、ワクチン接種を完了した人は、米国内の移動の際の感染検査、自己隔離は不要との新たなガイドラインを示しています。こうした動きは航空業界等にとって朗報というだけでなく、NY州の基幹産業の一つである観光業を後押しするものとして期待されています。

### ～ワクチン接種体験記～

3月31日にワクチン接種を受けてきました。

接種会場となるジャビッツ・センターは、東京ビッグサイトのような大型のコンベンションセンターです（右写真）。

予約時刻の朝9時少し前に会場内に入ると、入口でまず予約表の提示を求められました。そこで予約表に記載されている日時だけ確認された後、ファイザー製ワクチン接種者とジョンソン・エンド・ジョンソン製ワクチン接種者に振り分けられ、各自それぞれのレーンを進んでいきました。



私が接種するワクチンはファイザー製です。

進んだ先には多くのブースが並べられており、そこで接種前の問診を受けました。はじめに本人確認資料を求められ、身分証明書を提示しました。その後、「今日の体調は？」、「薬のアレルギーは？」、「癌などの既往症は？」、「抗体テストはした？」など10項目程度の質問を受けました。

問診が終わると接種エリアに誘導されました。各ブースでは接種する人と記録を付ける人の2人一組となり、次々と接種が進められています。接種担当の医師（あるいは看護師）は慣れた手つきで注射針を刺し、接種は瞬く間に終了しました。接種時の痛みは針を刺す時だけ少し痛みを感じる程度でした。記録担当から「次回は3週間後（4月21日）、同じ時刻に来て下さい」との指示を受け、接種記録を手渡され、接種は完了しました。

ごく稀に接種直後にアナフィラキシーショック等の症状を発する、あるいは気分が悪くなる人もいることから、念のため接種後15分程度は椅子に着席して様子を見ることになっています。やがて所定の時間が経過したことから会場の出口に向かいました。会場に入って、全てが完了して出るまでにかかった時間は約45分でした。

心配していた副反応ですが、翌日まで接種部位に筋肉痛のような痛みが続いた以外は、発熱や倦怠感といった症状はありませんでした。なお、一般的には1回目よりも2回目の接種の方が副反応が大きく出ると言われています。

今回私が接種したような大規模な会場では、多くの兵士が動員され、入口での受付、会場内の誘導等に当たっています。また、多くのボランティアの協力もあり、そのため人の流れが非常にスムーズでした。ワクチンそのものの大量供給もさることながら、こうした多くの人の力添えでワクチン接種がスムーズに進められているとの印象でした。

【ニューヨーク駐在員事務所 飯塚 藤郎】

— アメリカの大型モール —

週末、ニューヨーク州の隣の隣、ニュージャージー州にある大型モールへ行ってきました。マンハッタンからは車で30分程です。床面積約280,000㎡の建物内には多くの店舗に加え、レストラン、遊園地やミニゴルフ場、ウォーターパーク、スケート場、スキー場など、あらゆる娯楽施設があり買物だけではなく、1年中家族で楽しめる複合施設となっています。昨年春に本格オープンの予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い一時営業が停止され、10月の再開時には地元のニュースでも取り上げられていたので気になっていました。今まで近くを車で通ることはあったのですが、中に入るのは初めてです。



まず圧倒されるのはその広さです。建物部分に加えて3万台以上の車が駐車できる広大な敷地のため、ドライバーも迷ってしまう程です。建物に入ると、様々な店舗やレストランが並んでいるほか、緑の木々や噴水がある公園や子供たちが乗り物に乗って自由に遊ぶことができる広場もあります。スキー場の入口には、入場を待つ長い列ができていました。マンハッタンは以前に比べると人が戻ってきているとは言え、この1年間人混みを見るのがなかったため、予想外の混雑ぶりに少し困惑してしまいました。スキー場ではマスク着用が義務付けられており、ほとんどの人がしっかりと着用していました。

特に賑わっていたのが、屋内では北米最大規模といわれるウォーターパークです。私は入場を控えましたが、パーク内ではマスクなしで、他人との距離も気にせずに楽しむ人々が多く見られました。1年前までであれば気にも留めなかったのですが、長らくこのような光景を見ることがなかったため、不思議な感覚に陥りました。各地でワクチン接種が進み、少しずつ元の生活に戻つつあることを実感できた瞬間でした。マンハッタンから、バスや電車でも行くことができます。5月には水族館のオープンも予定されているなど、今後ますます注目のスポットです。



【ニューヨーク駐在員事務所 菱沼 いずみ】



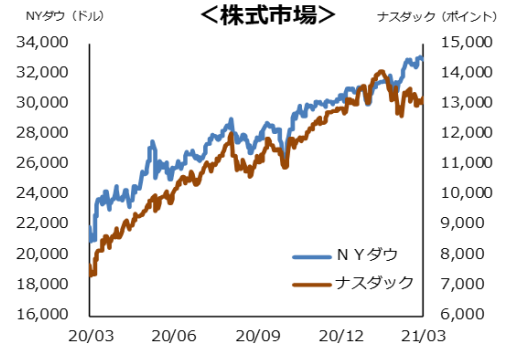
## 米国マーケットレポート (3月)

### ○マーケット情報

市場	指標	3月末	2月末	月間騰落額	月間騰落率
株式	NYダウ	32,981.55	30,932.37	+2,049.18	+6.6%
	ナスダック	13,246.87	13,192.35	+54.52	+0.4%
債券	10年債利回り	1.74	1.40	+0.34	+23.9%
為替	ドル/円	110.72	106.57	+4.15	+3.9%
	ユーロ/ドル	1.17	1.21	▲0.03	▲2.9%
商品	原油先物(WTI)	59.16	61.50	▲2.34	▲3.8%
	金先物	1,713.80	1,728.80	▲15.00	▲0.9%

出所: Bloomberg

### ○米国市場の概況



#### 【株式市場】ダウ、ナスダックとも上昇

米株価は長期金利に振られる展開となった。ダウとS&P500は過去最高値を更新した。1兆9,000億ドル規模の経済対策法案の成立も株価を下支えした。中旬に行われたFOMCでは金融緩和政策維持があらためて示されたものの、ここでも長期金利上昇により株価はもみ合いとなった。下旬にかけては、インフラ投資計画への期待やワクチン接種目標の引き上げを受けて上昇する展開となった。

#### 【債券市場】米国10年国債利回りは上昇(価格は下落)

債券市場は4ヶ月連続での下落(金利は上昇)となった。ワクチン普及や追加経済対策により米景気回復が加速するとの見方に加え、パウエルFRB議長が金利上昇をさほど警戒していないとの見方も伝えられ、金利は上昇した(債券価格は下落)。また、下旬にはバイデン政権のインフラ投資計画を巡る思惑から、一段と上昇する展開となった。

#### 【為替市場】ドルは対円で上昇

ドル円は続伸となった。ドル高が大きく進行した要因としては、米長期金利の上昇、非農業部門雇用者数の増加幅の上振れ、新型コロナウイルスのワクチン普及、米追加経済対策への期待等がある。

#### 【商品市場】原油先物、金先物とも下落

原油相場は、新型コロナワクチンの普及期待や米国の追加経済対策成立等による景気先行きを楽観視する向きから、中旬にかけて大きく上昇したが、その後、欧州での新型コロナ再拡大もあり、相場は下落に転じた。

## ニュース一覧

(2021年3月のニュースを抜粋、日付は Bloomberg 掲載日であり、あくまで参考となります)

### ●経済（発表順）

- ・ISM 製造業景況指数:2月は60.8と3年ぶりの高水準(前月は58.7) (3/1)
- ・貿易収支:1月は▲682億ドルと統計開始後3番目の大きさ(前月は▲670億ドル) (3/5)
- ・非農業部門雇用者数:2月は前月比+37万9千人(予想+20万人) (3/5)
- ・失業率:2月は6.2%で前月(6.3%)から低下(予想6.3%) (3/5)
- ・コアCPI(除食料・エネ):2月は前月比+0.1%(前年同月比では+1.3%) (3/10)
- ・鉱工業生産指数:2月は前年比▲3.1%と昨年4月以来のマイナス(予想+0.2%) (3/16)
- ・小売売上高:2月は前月比▲3.0%(予想▲0.5%) (3/16)
- ・住宅着工件数:2月は142万戸と昨年8月以来の低水準(予想156万戸) (3/17)
- ・中古住宅販売件数:2月は前月比▲6.6%の622万戸と6ヵ月ぶりの低水準(3/22)
- ・国内総生産(GDP):10-12月確定値は前期比年率+4.3%(改定値は+4.1%) (3/25)
- ・コンファレンスボード消費者信頼感指数:3月は109.7と1年ぶりの高水準(予想96.9) (3/30)

### ●金融政策（米国・欧州）

- ・デーリー サンフランシスコ連銀総裁:「先手打つ金融政策引き締めは回避する必要がある」(3/2)
- ・イエレン財務長官:「来年までに労働市場を元の軌道に戻せる」(3/8)
- ・ラガルドECB総裁:「(パンデミック緊急購入プログラムについて)市場の状況に従って、調達環境のタイト化を防ぐことを目的に、柔軟に購入する」(3/11)
- ・パウエル FRB 議長:「(FOMC 声明にて)経済活動や雇用の複数の指標は、このところ上向いている」「委員会の大半は予測期間中の利上げを見込んでいない」「資産購入の縮小について議論する時期はまだ訪れていない」(3/17)
- ・パウエル FRB 議長:「今年は年を通じてインフレ率が上昇すると予想している」(3/23)、「(労働市場への)参加は拡大している。そうした状況が失業率を高い水準にとどめている。極めて望ましい結果だ」(3/24)
- ・ボスティック アトランタ連銀総裁:「近い将来に緩和的な政策を解除する必要があるとは現時点で私が考えていないことを明確にしたい」(3/25)
- ・クオールズ FRB 副議長:「FOMC はインフレ率が目標値の2%を幾らか上回っても問題ないと考えているとの見方は非常に確実性が高い」(3/30)

### ●政治（米国）

- ・イエレン財務長官:「経済対策の成立で、国民は生活基盤が損なわれることなくコロナ禍を乗り越えると私は確信している」(3/22)
- ・バイデン大統領:「4月末までに2億回の接種を実施する」「野心的な目標だということは分かっているが、達成可能だと確信している」(3/25)
- ・バイデン大統領:「(過去の経済成長では米国社会の多くの層が取り残されていたが)われわれは誰も置き去りにすることはない」「誰もが成功すれば、皆がもっとうまくいく」「米経済を中流階級から構築するべき時だ」(3/31)

(出所:各種新聞、Bloomberg 等)